



株式会社

阪神コンサルタンツ

HANSHIN CONSULTANTS Co., Ltd.

会社HP : <https://www.hanshin-consul.co.jp/>

採用情報 : <https://www.hanshinconsul.co.jp/recruitment/>

About

阪神コンサルタンツを知る

阪神コンサルタンツは、地質調査、物理探査、土木設計、データ解析、4つの専門分野で、業界トップクラスの技術力を発揮。
各分野のチームが有機的に連携することで、それぞれのクオリティを高め合っているのが特長です。

Feature 01

地質調査

さまざまな情報をつなぎ合わせ
効果のあるコンサルティングを行う

Feature 02

物理探査

地面の遥か下の状況を
さまざまな探査によって解明

Feature 03

土木設計

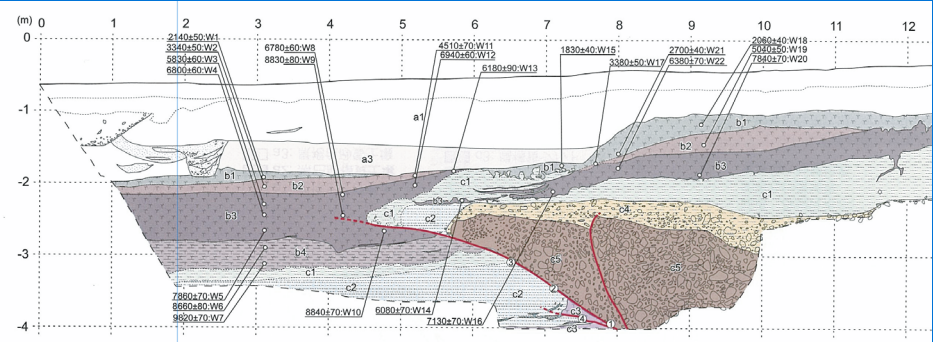
インフラの設計を通じて
地域の人々の暮らしに貢献

Feature 04

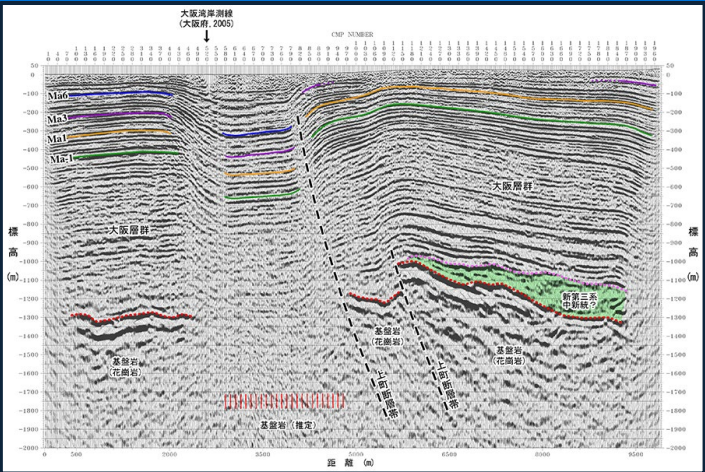
データ解析

データを多角的・客観的に捉え
安全を守る道筋を導きだす

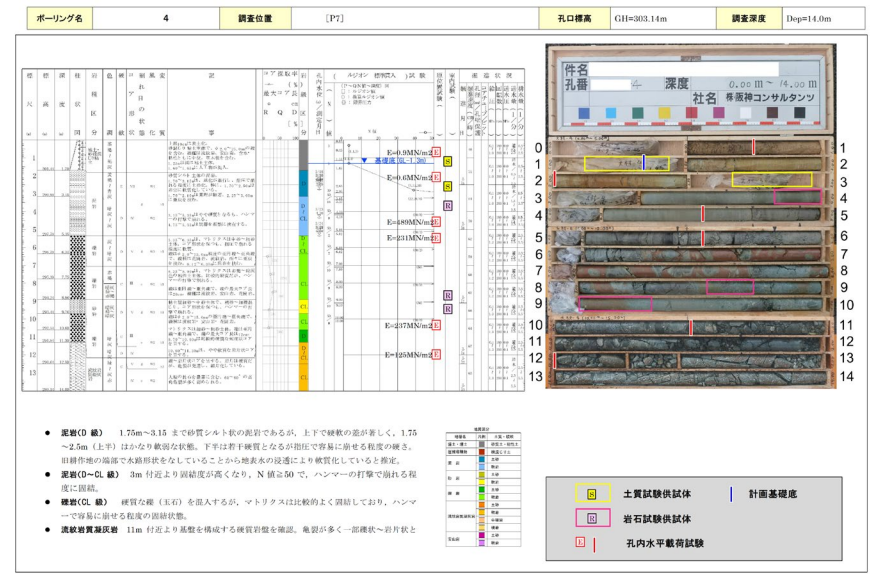
トレンチ調査



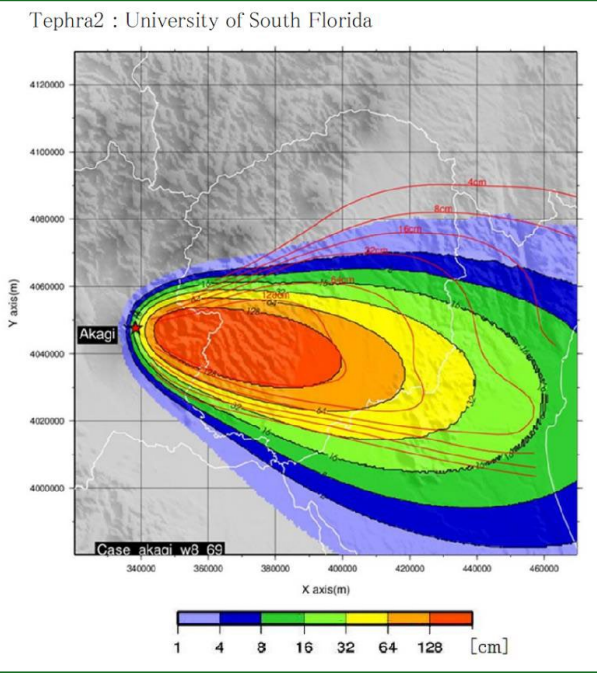
反射法弾性波探査



ボーリング調査



火山灰堆積シュミレーション



MESSAGE 01

規模の大きいプロジェクトに
自分ごととして関われる会社

MESSAGE 02

地質調査の知識に加え
円滑に進めるマネジメント力も重要

MESSAGE 03

新人の頃から実務経験を積んで
調査に必要なスキルを習得

大学院で地質学を学んだものの、調査で求められる知識とはまったく異なるため、入社して1からのスタートとなりました。でも、新しい知識を習得することが好きなので苦ではありませんでした。それは今もまったく変わりません。

新入社員は、主担当者の補佐として仕事を覚えることから始まります。そして一通りの業務を覚えると自分が主担当者となり、副担当者としてついてくださる先輩の指導やサポートを受けながら、プロジェクトを担当するためのスキルを習得します。もちろん座学やオリエンテーションなどの研修もありますが、地質調査は実務経験を積むことが重要なんです。その点、当社は新人・若手社員の教育がしっかりとっていて経験も積めるので、技術者として成長できる環境だと思います。

MEMBER INTERVIEW 01

インフラをつくるために不可欠な

地質調査は深掘りしがいのある仕事



PROFILE

調査技術部
地盤技術グループ

D. I.
2019年入社／理学部 卒業

お客様にとって有益な
プラスαの提案を

当社はコンサル会社なので、調査結果を伝えるだけでなく、構造物の設計・施工に有効な情報をまとめ、留意すべき点を提案するのも大切な役割です。そのためには専門的な知識や理解力が必要なので、知識のアップデートに加えて上司や先輩の取り組み方を参考にしながら、ニーズにマッチしたコンサルを行うように努めています。

また、私たちが手がける調査は、お客様や関係者とのコミュニケーションが欠かせません。お互いに認識の食い違いがあるとロスやトラブルが生じてしまうので、初期段階から共通認識をもつようにわかりやすい資料作成や説明を心がけています。

この仕事に関わるようになって感じるのは、専門性が高く、奥が深いこと。私は今、入社6年目ですが、まだまだ学ぶことはたくさんあると感じているので、これからも向上心をもって深掘りしていきたいです。

安全で豊かな社会を

根底から支える地質調査



日々の業務と共に 学会発表にも力を入れたい

私は何らかのかたちで研究にも関わりたいので、チャンスがあれば積極的に論文を発表していきたいと考えています。その一環として、英語でやりとりができるように、英語力を高めたいです。普段の業務でも海外の方と関わる機会があるので、いろいろな面で役立つはずです。こうした目標を達成するためにも、まずは日頃の業務の質を上げることが不可欠だと思っています。

これから当社に入社される方には、何か自分の強みを見つけてほしいですね。そのためには目一杯勉強する必要がありますが、強みが見つければ、将来の目標ができて仕事がおもしろくなると思います。

PROFILE

調査技術部
地質解析グループ | E. I.
2023年入社／理学部 卒業

MESSAGE 01

プロフェッショナルな仕事と気さくな社風に魅力を感じて入社

大学院で火山に関する研究をしていたので、これまで取り組んできたこととダイレクトに関連する仕事がしたいという希望がありました。といっても、そうした事業を展開している企業はほとんどなくて、もう少し視野を広げて就職先を探そうと考えていたんです。

そんな時、火山学会団体会員一覧で見つけたのが当社でした。社員の方が発表された論文を読むと興味深い内容だったので、会社説明会に参加させてもらうことに。話を聞くと希望通りの仕事内容で、しかも比較的小規模の会社にもかかわらず、お客様は国や大手電力会社。当時はかなり謎でしたが（笑）、惹かれるものがあったんです。それは、事業内容に加えて会社の空気感だと思います。面接で対応してくださった方が専門的な質問をされて最初は圧倒されたのですが、徐々に打ち解けると、プロフェッショナル集団でありながらフレンドリーな社風であるのが伝わってきたんです。

MESSAGE 02

発電所の安全な稼働に向けて周辺の地質を徹底的に調べる

私の仕事内容をひと言で説明すると、理学的な地質調査です。お客様の大半は大手電力会社で、現在私が担当しているのは、発電所がある地域で地震・火山などの災害が発生するリスク、さらにどんな被害が想定されるのかを明らかにするため、周辺の火山活動や断層の状態を調べて検討するプロジェクトです。

発電所がつくられた時と比べると調査の技術が大きく進歩し、当時はわからなかったことが正確にわかるため、こうした調査が必要になるんです。もちろん、安全に関する基準が厳しくなったという社会背景もあります。

調査方法は、文献調査や現地踏査などさまざまあり、調査計画の提案から実施、調査結果や留意点をまとめた報告書作成までを行います。私はまだすべてを担当したわけではないのですが、少しずつ携わる範囲は広がっているので充実感があります。

MESSAGE 03

精度の高い調査のカギは準備と現場力

MESSAGE 01

研究者と技術者の役割を両立できる仕事に惹かれる

大学では地震学の研究に取り組み、そこで身につけた知識やプログラミングの技術を活かせる仕事に就きたいと考えていました。そんな中、研究室に当社のカレンダーが貼ってあったことがきっかけで関心をもつように。

志望の決め手は、やはり事業と仕事内容です。コンサルタント会社として地震に関する調査を行っていて、クリエイティブな研究者としての役割と、実用的な“かたち”にする技術者としての役割を両立できると感じました。

就職活動は、民間企業だけでなく公的機関も視野に入れて活動していましたが、規模の大きい職場では業務の大半がマニュアル化されているのに対して、当社は一人の社員がさまざまな業務に関わり、自分で考えて進められる範囲が大きいと感じたこともポイントでした。それは印象の通りで、社員が主体的に仕事に取り組んでいるのが特徴といえるでしょう。

MESSAGE 02

計画立案からデータ解析、 レポートまですべての過程に関わる

MESSAGE 03

専門知識を身につける 主体性が不可欠

MEMBER INTERVIEW 05

目で見えない地面の下を解き明かす

地震防災に貢献する物理探査という世界

幅広い事業によって 社員の知見も広がる

探査技術部の大きな特徴は、探査計画の立案から、観測機材の準備、計測、データ解析、結果に基づいた地質解釈をトータルで行う体制を備えていることです。こうした環境があることで、社員はさまざまな業務に携わり、知見を広げることができます。

そして、若手のうちから現地踏査など多くの経験を積ませてもらえるのも特色だと思います。場数を踏むことで解析のみならず、計画立案や解釈の質向上につながります。また、経験豊富な上司や先輩が近くにいて、多くのことを吸収できる点もありがたいですね。将来の目標は、入社時に想い描いていたように、研究者と技術者の技能を高いレベルで両立できる人材になることです。

PROFILE

探査技術部

H. K.

2020年入社／理学部 卒業